

西部ガス佐世保株式会社本社屋

SAIBU GAS SASEBO BUILDING

No. 09-011-2021作成

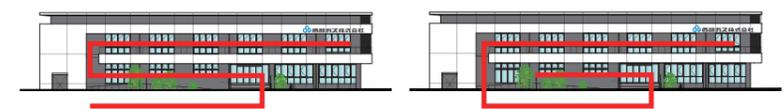
新築
事務所

発注者	西部ガス都市開発株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	佐藤工業株式会社一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	佐藤工業株式会社 九州支店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

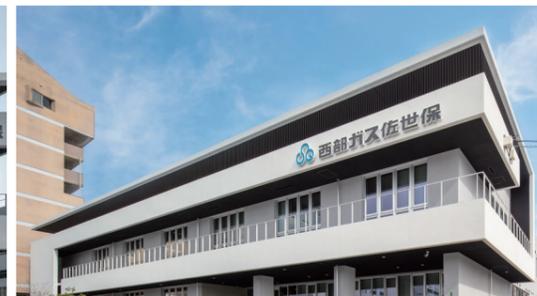
災害時の対策本部も兼ねるBCP対応の社屋



佐世保川からのファサード



西部ガスグループの「S」「G」を連想させる外観



庇でデザインされた外観



エントランス外観(左)(右)



ファサード鳥瞰(左) 西部ガスグループロゴ(右)



ロゴでデザインされたエントランスの前庭

計画概要

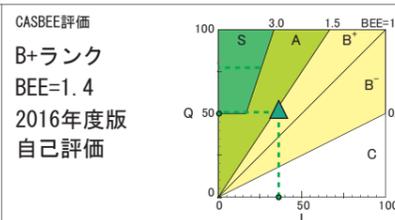
本物件は、長崎県、福岡県、熊本県に都市ガス等を供給する西部ガスグループの長崎県佐世保市地域を管轄する西部ガス佐世保(株)の本社屋の計画である。施主要望を踏まえた低層で水平に広がる建物形状の中、西部ガスグループの本社屋である事を外部から連想させる建物デザインを目指した。また、自然災害等の緊急事態に遭遇した場合において、対策本部も兼ねるため、損害を最小限に留めて事業を継続させるBCP対応をコンセプトに掲げた計画としている。

外観デザイン

日射遮蔽、外壁の汚れ防止等を考慮して、深い庇及びバルコニーを計画した。庇及びバルコニーの形状と、モノトーンで色分けされた色調で西部ガスの「S」と「G」を連想させるデザインとしている。また、エントランスの前庭に西部ガスグループのロゴデザインを採り入れた植栽計画としている。

建物データ	
所在地	長崎県佐世保市
竣工年	2021年
敷地面積	4,604㎡
延床面積	1,991㎡
構造	RC造
階数	地上2階

省エネルギー性能	
BPIm	0.76
BEIm	0.68



クネット手摺の屋内階段(左) 事務室(中上、中下) エントランスホール(右)



ハザードマップより1200mm上げて1F床レベルを計画



ガバナ(左) サーバー室の免振床(右)



屋上に設置した保安用途利用の自家発電機(左) 建物1階床と同じ高さに設置した受水槽(右)

設計担当者

統括：伊藤雅之、青山政司/建築：西田祥子/構造：野原悟/電気設備：小野寺理
機械設備：萩原寿樹

主要な採用技術(CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐震性・信頼性(災害時の浸水対策として1階床レベルを洪水履歴レベル+1.2m サーバー室の床免振化)
- Q2. 2. 耐震性・信頼性(非常用発電機の保安用途利用 耐震設計における重要度係数:1.25)
- Q3. 1. 生物環境の保全と創出(正面入口に会社ロゴをデザインした庭園を設置)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制(Low-Eガラスの採用)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化(LED照明の採用)
- LR2. 1. 水資源保護(節水型水栓や節水型衛生器具の採用)

内観デザイン

外観に合わせて、モノトーンでメリハリのあるデザインを基本とし、多彩な形状、色彩の家具を配置しても調和できるように壁はホワイト、床はグレーで統一している。エントランスホールに設置したカウンターは、外観と類似した形状として、外部と内部の統一感に配慮した。また、屋内階段の手摺には長崎県佐世保市の企業が開発した腰への負担が1/3以下になると言われる「波型手摺(クネット)」を採用し、ユニバーサルデザインを目指した。

BCP対応の社屋

<意匠計画>

計画地の周囲に、佐世保川、佐世保港がある事から、ハザードマップや洪水履歴より推定される浸水深さプラス1200mmを1階床レベルとして計画した。熊本地震による教訓を生かしてサーバー室は床の免振化を採用した。また、災害時の対策本部となるため、仮眠室、宿泊室、浴室、備蓄倉庫等を計画に盛り込んでいる。

<構造計画>

耐震設計における重要度係数を1.25で計画している。また、漏水リスクのある耐震スリットを避けるため、ルート1の構造計算を採用している。

<設備計画>

敷地内に整圧器(ガバナ)を設置し、災害時に強い中圧ガスを建物へ分岐し供給している。また、自家発電機を設置し非常時の保安用途に利用できる計画としている。低層建物であるが、受水槽方式を採用し、断水時の水の確保に留意した他、設備関連の耐震化対策を行った。上記により、ガス事業における災害拠点施設としての機能確保が可能な建物となっている。